

令和7年度 西播磨県民局重点施策(案) 補足説明資料

I 元気な西播磨

～地域の強みを活かした賑わいと活力のあるまち～

頁

1 「水」と「緑」と「古(いにしえ)」に会う西播磨ツーリズムの推進

- (1) 万博における西播磨観光プロモーションの展開 1
- (2) 脱パンフレット「観光カード」による省スペースな観光プロモーション 2
- (3) 西播磨ひょうごフィールドパビリオンフェスティバルの開催 3
- (4) 「西播磨の山城」魅力情報発信 4
- (5) 西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト 5
- (6) 西播磨北部地域の魅力発信 6
- (7) 西播磨ツーリズム拠点の整備 7
- (8) 西播磨を巡るデジタルスタンプラリー 8

2 地域資源の更なる魅力アップ

- (9) 西播磨ツーリズムの総合的推進 9
- (10) メディアを利用した西播磨の魅力発信 10
- (11) 赤穂海浜公園リノベーションの推進 11
- (12) 兵庫・鳥取県際交流～日本の原風景“国道29号沿線地域”賑わいづくり～ 12
- (13) 兵庫・岡山県際交流～“播磨・備前・美作国境地域”賑わいづくり～ 13
- (14) 兵庫・岡山県際交流～“赤穂線沿線4市”観光PR～ 14
- (15) 西播磨ふるさとの風景づくり 15

3 選んでもらえる西播磨暮らし

- (16) 西播磨暮らしサポートセンター(移住・空き家ワンストップ相談窓口)の運営等 16
- (17) 次世代農業の担い手確保 17
- (18) 集まれ林業男子・林業女子 in 西播磨 18

4 地域の特徴を活かした産業振興

- (19) 西播磨ビジコン・ビジマッチ 19
- (20) 西播磨フードセレクション episode.2 20
- (21) 西播磨版スマート農業の推進 21
- (22) 西播磨ブランドの育成・創造支援 22

II つながる地域のきずな西播磨

～地域でともに支え合う繋がりのあるまち～

1 地域を担う人材の育成

- (23) 地域づくり活動応援事業の推進 23
- (24) 西播磨地域ビジョンの推進 24
- (25) ふるさと意識醸成プロジェクト 25
- 【再掲 P19】西播磨ビジコン・ビジマッチ

2 縁を結ぶ地域づくり

- (26) “結婚っていいな！”西播磨縁結び推進事業 26

Ⅲ 自立の西播磨

～地域で循環するまち～

1 播磨科学公園都市の賑わい創出と魅力発信

- (27) 西播磨フロンティア祭の開催 27

2 環境に配慮した持続可能な地域づくりの推進

- (28) 「CO₂CO₂（こつこつ）減らして西播磨」事業

- ① 環境学習の推進 28

- ② 西播磨エコフェス事業 29

【再掲 P23】地域づくり活動応援事業の推進

- (29) 恵み豊かな清流千種川復活大作戦 30

- (30) 環境対策の推進 31

Ⅳ 安全安心の西播磨

～誰もが安心していきいきと暮らせるまち～

1 誰もがいきいきと暮らせる安全安心な地域づくり

- (31) 防災対策にかかる県民意識向上の推進 32

- (32) 引原ダム再生事業の推進 33

- (33) 総合治水の推進 34

- (34) 西播磨「田んぼの力」プロジェクト 35

- (35) 西播磨地域 障がい者社会参加プロジェクト 36

- (36) 地域で生活する医療的ケア児の支援体制整備 37

2 暮らしを支える社会基盤の整備

- (37) 姫新線利用促進・活性化対策の推進 38

- (38) 播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり 39

※

新：新規事業

拡：拡充事業

万博における西播磨観光プロモーションの展開

1 事業目的

「大阪・関西万博」の開催を機に、「尼崎万博P&R駐車場」隣接地である尼崎フェニックス事業用地で開催される「ひょうご楽市楽座」や万博会場内の関西パビリオン多目的エリアにて、岡山県や他府県と連携して観光PRを行う「兵庫フレンドシップウィーク」において、西播磨の各市町の魅力を国内外に広く発信することで、万博後も含めた誘客促進を図る。

2 事業内容

(1) 「ひょうご楽市楽座」での西播磨観光プロモーション

期間：令和7年8月16日(土)・17日(日)、23日(土)、24日(日)

時間：午後4時～午後9時

場所：尼崎フェニックス事業用地（「尼崎万博P&R駐車場」隣接地）

内容：観光コンテンツ・特産品PR、観光PR動画放映等

(2) 「兵庫フレンドシップウィーク」での西播磨観光プロモーション

期間：令和7年9月27日(土)、28日(日)、29日(月)

時間：午前9時～午後10時

場所：万博会場関西パビリオン多目的エリア

内容：観光コンテンツ・特産品PR、観光PR動画放映等

3 予算額 4,150千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

㊦脱パンフレット「観光カード」による省スペースな観光プロモーション

1 事業目的

西播磨地域の知名度向上と誘客促進を図るため、若年層及びインバウンドをターゲットに、パンフレットに代わる省資源・省スペース・多言語対応可能な写真映える観光スポットのカードを作成し、西播磨の魅力を発信する。

2 事業内容

管内の写真映える観光スポットの観光カード（24 種類）を2つのラックに収め、多くの人が訪れる場所に配架し、西播磨の魅力を PR する。（お土産代わりのカード持ち帰りによる SNS 等での情報拡散も期待する）

【配架場所例】

- ・観光案内所
- ・万博関連イベント 等

※観光カード

名刺サイズのカード。記載の二次元コードを読み取ると、10 言語対応の観光サイト「JFM」西播磨に繋がり、同サイトから Google マップ、インスタ等と連動し、目的地までの行程や周辺の観光情報の入手が可能。（観光カードコレクターの西播磨地域への誘客効果にも期待する）

3 予算額 2, 0 0 0 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(Tel.0791-58-2365)

㊦西播磨ひょうごフィールドパビリオンフェスティバルの開催

1 事業目的

西播磨地域におけるひょうごフィールドパビリオンの認知度向上を図り、万博終了後においてもフィールドパビリオンが地域活性化に資する取組みとなるようフェスを開催する。

2 事業内容

(1) 時期：令和7年10月下旬 ※西播磨フロンティア祭と同時開催

(2) 場所：播磨科学公園都市 芝生広場

(3) 内容（予定）：

○ステージイベント及びブース展示等

＜ステージ＞

・万博をテーマにしたトークショー 等（調整中）

出演者：万博アンバサダー等

・フィールドパビリオンプレイヤーによる PR

＜ブース展示・体験＞

・西播磨地域のフィールドパビリオンプレイヤー

・各市町、観光協会

・万博関係団体

3 予算額 4,850 千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当）石川 景子

(Tel.0791-58-2128)

㊦「西播磨の山城」魅力情報発信

1 事業目的

「西播磨山城復活プロジェクト（R2～R4）」事業の成果を活かして、地域資源を活かした西播磨の魅力向上に取り組み、来訪者の増加による交流人口の拡大と住民のシビックプライドを醸成する。

2 事業内容

県内外・国内外の人々と地域資源である西播磨の山城を繋ぐため、山城のさらなる魅力を向上する事業を展開し、「西播磨の山城」の認知度を向上や持続可能な来訪者の受入体制の充実、強化などに取り組む。

(1) 山城ガイドによる大規模イベントでの魅力発信

地元住民を中心として育成した「山城ガイド」が、お城に関する全国的な大規模イベントで自ら情報発信するなど来場者と交流することで、西播磨の山城の魅力を全国に発信する。

- ・イベント名：お城E X P O 2025
- ・開催時期：令和7年12月中旬（2日間）
- ・開催場所：パシフィコ横浜ノース
- ・来場見込：約20,000人（R6実績20,754人）

〔拡〕(2) ホームページ「西播磨遊記」山城サイトの充実

2025年の大阪・関西万博の開催の機会を捉えて、西播磨ツーリズム振興協議会のホームページ「西播磨遊記」に掲載している「西播磨の山城」サイトを英訳し、万博後もインバウンドへの情報発信を継続する。

〔拡〕(3) ARアプリ「西播磨の山城へGO」の充実

- ①未搭載の山城CGの追加
- ②プッシュ通知機能搭載による情報発信力の向上

〔新〕(4) 山城ガイドの後進育成

地元住民による山城ガイドの後継者不足に対応する山城ガイド育成講座等を開催する。

〔新〕(5) 山城とひょうごフィールドパビリオンへの来訪者促進

西播磨の山城とひょうごFPに誘客するデジタルスタンプラリーを開催する。

3 予算額 8,000千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト

1 事業目的

西播磨地域は、風光明媚な海岸、緑豊かな森、中国山地から播磨灘に注ぐ揖保川・千種川など自然に恵まれており、「水」にまつわる観光資源が点在している。

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、西播磨地域の「水」をテーマにしたコンテストを開催し、受賞作品を活用した積極的な情報発信を行う。

2 事業内容

(1) 水系自慢コンテストの開催

管内の豊かな自然の象徴である揖保川、千種川、瀬戸内海岸等「水」にまつわる写真・映像の作品を募集するコンテストを開催する。

入賞作品は、西播磨「水のさと」のPRに活用する。

(2) 応募作品を活用した観光PRコンテンツの作成

水系自慢コンテストで応募のあった写真、映像等の作品から、観光PR用の動画等を作成し、広くPRに活用する。

3 予算額 800千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(Tel.0791-58-2365)

西播磨北部地域の魅力発信

1 事業目的

北部地域にある優れた地域資源を効果的に活用することにより、交流人口の拡大や雇用の創出を図る。

2 事業内容

西播磨北部地域を中心とした過疎地域の活性化のモデルケースとして、宍粟市・市観光協会・県民局・アウトドア事業者からなる「宍粟市多自然地域活性化実行委員会」へ負担金を支出し、同市北部の魅力発信を行う。

- ・「しそう 氷ノ山 SEA TO SUMMIT」の開催支援等

3 予算額 1, 7 0 0 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

西播磨ツーリズム拠点の整備

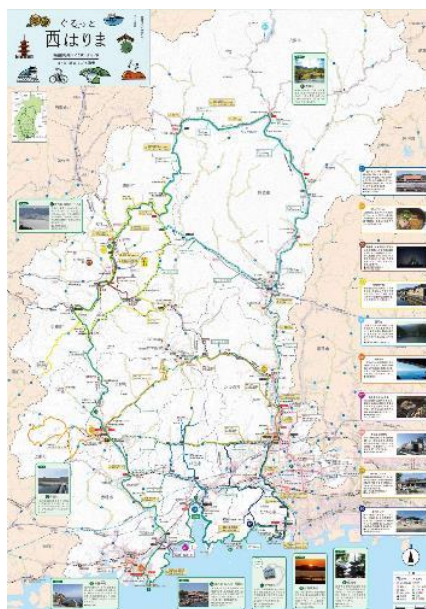
1 事業目的

西播磨地域は、海・川・山・森などの自然に恵まれ、多様な風土の中で培われてきた食文化、数多く残る山城跡や伝統的な建造物群など歴史的風致を形成する地区、ダムなどの社会インフラ施設など、様々な見どころが広く存在する。

アウトドアツーリズムによる地域活性化を図るため、点在する見どころを、公共交通、自動車、バイク、自転車など、様々な移動手段で巡るための環境を整備する。

2 事業内容

- ・サイクリング環境整備（ガイド増刷、更新等）



- ・サイクリストが立ち寄る店舗などへのサイクルラック設置支援



3 予算額 800千円

担当：光都土木事務所
所長補佐(企画調整担当) 大久保 豪
(TEL.0791-58-2229)

西播磨を巡るデジタルスタンプラリー

1 事業目的

西播磨地域は、風光明媚な海岸、緑豊かな森、中国山地から播磨灘に注ぐ揖保川・千種川など自然に恵まれており、「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並など観光資源が多数ある。西播磨地域の多様なスポットを観光資源として最大限活用したデジタルスタンプラリーを実施することで、西播磨地域への通年誘客の促進を図る。

2 事業内容

「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並など西播磨地域の魅力的な観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを開催する。

通年型の観光誘客を促進するため、夏／秋・冬の2パターンで開催。

3 予算額 3, 0 4 0 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

西播磨ツーリズムの総合的推進

1 事業目的

西播磨地域の豊かな自然や歴史、体験・交流イベント等多彩なツーリズム資源を活用し、西播磨のツーリズム振興を図るとともに地域の活性化に資するため、市町、観光協会、有識者等から成る「西播磨ツーリズム振興協議会」(平成15年7月設立)を中心に、観光振興による交流人口拡大と地域活性化につながる効果的な情報発信や各種事業を展開する。

2 事業内容(詳細は、構成団体と協議の上決定)

(1) ツーリズム資源の魅力アップ

- ア ホームページ「西播磨遊記」による情報発信
- イ ツーリズム情報誌「Enjoy!西播磨」の発行
- ウ 西播磨ツーリズムバス助成
日帰り@25千円×9台、宿泊@50千円×2台
- エ アンテナショップを活用した観光情報発信
- オ ARアプリ「西播磨の山城へGO」維持管理

(2) PRイベントへの出展

多くの集客で賑わう西播磨県民局管内外のイベントに出展し、西播磨の観光資源をPRする。

3 予算額 8, 1 7 9 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

メディアを利用した西播磨の魅力発信

1 事業目的

ラジオや SNS などの各種メディアの活用により地域の情報発信力を高め、西播磨の多彩な地域資源を広く P R し、西播磨地域への観光・交流人口の拡大を図る。

2 事業内容

(1) ラジオ番組の放送

ラジオパーソナリティーが西播磨を訪れ、美しい風景とあわせて様々な特産品やグルメを体感し、その内容をラジオで放送する。ラジオパーソナリティーによる取材にはインスタグラム等 SNS を活用するほか、放送内容などをラジオ関西ネットワークス（ラジトピ）等で発信し、各種メディアを活かした情報発信力の強化を図る。

①コーナー名 谷五郎のぐるっと西播磨（谷五郎の笑って暮らそう内）

隔週日曜日 10 時 10 分頃～

②放送内容 < 2 ～ 7 分間程度 >

電話出演（電話での生放送で西播磨の旬な魅力を発信）

取材音源放送（西播磨地域で取材を実施）など

(2) 動画投稿チャンネルを活用した情報発信

Youtube や TikTok 等の動画投稿チャンネルを活用して、西播磨の魅力を多種多彩な動画で発信するとともに、インスタグラム等 SNS と連携した情報発信により、西播磨地域へ訪れるきっかけとなる情報を発信する。

3 予算額 4, 7 2 3 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(Tel. 0791-58-2365)

赤穂海浜公園 リノベーションの推進

1 事業目的

公園の更なる魅力の向上を図るため、「県立都市公園のあり方検討会」での検討結果（自然環境保全及び民間を活用した活性化のあり方）を踏まえ、「赤穂海浜公園管理運営協議会」を中心に利用促進や施設整備に取り組むとともに、民間活力導入による新たなパークマネジメントを実施する。

2 事業内容

- ・ SNS 等による発信
- ・ 展望施設等の詳細設計及び施設整備
- ・ 民間活力導入による新たなパークマネジメントの実施



【参考】

- ・ R7.4～の指定管理者（グループ）：^{あこうシー}Ako汐サイドヴィレッジコンソーシアム（グループ構成員（5者））

（公財）兵庫県園芸・公園協会、コーエイ(株)、くいどうらく(株)、
（株）三木組、（株）FDC

（主な提案内容）

- 自由広場：① カフェ併設ドッグラン（新設）
② 海を望むカフェ（新設）
③ わくわくランドエリア拡張
- オートキャンプ場：① グランピングエリア（新設）
② 既存コテージリニューアル
- わくわくランド：遊具リニューアル

- ・ 指定管理期間：R7.4.1～R27.3.31（20年間）

3 予算額 本庁予算（公共）

担当：光都土木事務所
港湾課長 竹川 智弘
(Tel.0791-58-2249)

兵庫・鳥取県際交流～日本の原風景“国道29号沿線地域”賑わいづくり～

1 事業目的

「日本の原風景」と呼ぶにふさわしい、四季折々の自然や農山村の景観、歴史的価値のある文化的景観などの地域資源を現在も多数とどめる国道29号沿線地域の活性化を図るため、鳥取県や沿線市町と協力して「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」の実施する交流や情報発信事業に加えて、沿線の地域づくり活動団体で構成する「日本風景街道新因幡ライン協議会」の実施する住民主体による地域づくりの取組を支援する。

2 事業内容（詳細は構成団体と協議のうえ決定）

(1) 「国道29号周辺 兵庫・鳥取地域振興協議会」事業の実施

「福ロード」ドライブスタンプラリー、ニク（29）ロード推進事業など

(2) 「日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会」事業の実施

新因幡ラインインスタ投稿キャンペーン、日本風景街道新因幡ライン協議会の実施する事業（沿線緑化、賑わいづくりイベント等）への補助など

3 予算額 800千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

兵庫・岡山県際交流～“播磨・備前・美作国境地域”賑わいづくり～

1 事業目的

観光・交流人口の拡大を図るため、西播磨・備前・美作と古来からつながりのある三地域に共通した観光資源（黒田官兵衛、宮本武蔵等の歴史資源や牡蠣、温泉等）を活用した交流事業を、岡山県（備前県民局、美作県民局）、関係市町等と連携して実施する。

2 事業内容（詳細は、構成団体と協議の上決定）

（1）共同交流事業

西播磨・備前・美作の三地域に共通した観光資源を活用した交流事業を実施

（2）共同広報事業

PRイベントでの共同出展

3 予算額 1, 0 0 0 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

兵庫・岡山県際交流～“赤穂線沿線４市”観光ＰＲ～

1 事業目的

美しい多島海と複雑な構造の入り江といった共通の自然環境を有し、かつては海を通じてつながり、現在は赤穂線を通じてつながりのある沿線４市（相生市、赤穂市、備前市、瀬戸内市）。連携して一体的に売り出すことにより同地域への誘客を促進するため、４市に共通した観光資源をＰＲする。

2 事業内容（詳細は構成団体と協議のうえ決定）

（１）国内向け情報発信事業

赤穂線沿線地域の体験型観光コンテンツの情報発信

（２）かきシーズンＰＲ事業

かきＰＲポスター等を制作し、岡山・兵庫・京都・大阪のＪＲ主要各駅で掲出するなどプロモーションを実施

（３）まち歩き関連事業への支援

集客力強化に資するイベント開催経費について各市１回、１５万円を限度に助成

（４）イベント事業への助成

集客力強化に資するまち歩きイベントについて各市１回、１０万円を限度に助成

3 予算額 1, 100 千円

担当：県民躍動室

室長補佐兼地域振興課長 田中 宏昌

(TEL.0791-58-2365)

西播磨ふるさとの風景づくり

1 事業目的

美しい風景や歴史・文化などの地域資源を活かした地域づくり活動を進めるため、小中学校生等を対象にふるさとの風景をテーマに絵画コンクールを開催するとともに、市町や地域の団体等が行う風景・文化の保全活動を支援する。また、西播磨固有の風景・文化を形成する農業水利施設の魅力発信を行う。

2 事業内容

(1) 「ふるさとの風景絵画コンクール」の開催

将来を担う地域の小中学校生、高校生を対象に、ふるさとの風景をテーマに絵画コンクールを開催

(2) 施設等整備の支援

① 活動を高める（活動のステップアップを図るための施設等整備）

・直売所・加工所の整備、地域資源の案内板の設置※、棚田等の景観保全等

【実施主体】 地域づくり団体・市町等

【補助率】 定額、上限額 500 千円/件（※については 250 千円/件）

② 活動を支える（活動を支える生活基盤や生産基盤の整備）

・集落内の道路・水路の整備、展望スポットの整備※、ため池等の安全施設の設置等

【実施主体】 市町等

【補助率】 1/2 以内、上限額 500 千円/件（※については 250 千円/件）

(3) 歴史ある農業水利施設（ため池・井堰・水路等）の魅力発信

冊子「地域をまもる水物語」の題材となった農業水利施設を「西播磨水のさと」事業との連携により、「水」をテーマとした地域資源のスケッチ絵画を作成...岩田健三郎氏が行く「西播磨の旅～井堰やため池...疏水をめぐる～」を実施

3 予算額 3,300 千円

(1) 「ふるさとの風景絵画コンクール」の開催	400 千円
(2) 施設等整備の支援	2,400 千円
(3) 歴史ある農業水利施設の魅力発信	500 千円
計	3,300 千円

担当：光都農林振興事務所

光都土地改良センター

農村計画課長 合田 弘

(Tel. 0791-58-2215)

**西播磨暮らしサポートセンター
(移住・空き家ワンストップ相談窓口)の運営等**

1 事業目的

西播磨地域への移住者を増やすことを目的として、移住を希望する方の暮らし全般の相談に対応するほか、空き家問題を抱えている西播磨地域の方の相談に対応するため、関係機関と連携し、ワンストップ相談窓口として、西播磨暮らしサポートセンターを運営する。

2 事業内容

(1) 西播磨暮らしサポートセンターの運営

移住コーディネーターを配置し、移住・空き家に関する電話・オンライン相談、面談などを実施

- ① 場 所 西播磨総合庁舎県民ホール内
- ② 運 営 業務委託
- ③ 相談体制 移住コーディネーター2名程度
- ④ 相談時間 月～金 9:00～17:00

(2) 西播磨暮らしオーダーメイド型プチツアーの実施

移住検討者の多様なニーズに対応するため、西播磨地域の案内、空き家等の物件紹介に加え、希望に応じた田舎暮らし体験の情報提供等、オーダーメイド型のプチツアーを実施

3 予算額 8,730千円

担当：県民躍動室

多自然地域づくり専門官 蒲原恵美子

(TEL.0791-58-2133)

㊦次世代農業の担い手確保

1 事業目的

今後就農を視野に入れる高校生やU J I ターン者など、幅広く就農を希望する者へ、就農に向けての情報や相談・体験機会の提供等で就農に向けての実感を高めるとともに、雇用就農の受け皿となる経営体の雇用ニーズ拡大を図るなど総合的な支援を行い、新規就農者の確保を図ることで地域の活性化に資する。

2 事業内容

西播磨就農アグリフロンティア事業

(1) 事業実施主体

西播磨アグリフロンティアカレッジ運営協議会

(構成：市町、J A、上郡・佐用高校、県民局)

(2) 取組内容

〔新〕①「西播磨就農ガイドブック」(仮称)の作成

西播磨地域での就農に役立つ情報を掲載したガイドブックを作成

〔新〕② 就農フェアの開催

就農相談ブースを設置し、就農希望者の個別相談を実施

③ 中・短期農業体験研修

就農相談者に対する、中・短期の農業体験を支援

〔新〕④ 雇用就農に関する研修

規模拡大志向の農業経営体に対する、雇用に関する知識習得の研修を実施

3 予算額 2, 4 9 6 千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第1課長 尾西 賢一

(Tel.0791-58-2193)

集まれ林業男子・林業女子 in 西播磨

1 事業目的

林業事業体が集中する西播磨地域における林業の担い手を確保するため、市町、森林組合、林業事業体と連携した林業体験会を開催する。

2 事業内容

※県立森林大学校の学校説明会と併催

- ① 内 容：高性能林業機械等の実演・操作体験
林業事業体の活動パネル展示等
- ② 対象者：林業への就業希望者、県立森林大学校への入学希望者
- ③ 場 所：宍粟市内の森林、県立森林大学校

3 予算額 500千円



担当：光都農林振興事務所

所長補佐兼森林第1課長 上床 雄治

(TEL.0791-58-2197)

㊦ 西播磨ビジコン・ビジマッチ

1 事業目的

西播磨地域の抱える人口減少、高齢化、空き家問題等の地域課題をビジネス的手法で解決するとともに、地域課題に取り組む志を持つ人材の発掘、育成等を目指し、新たな起業や新ビジネス創出を支援するビジネスプランコンテストを実施する。

また、最終審査会進出者と金融機関、市町創業支援担当者等との交流の場としてビジネスマッチングを開催し、西播磨地域での円滑な起業を支援する。

特にR7年度は、ビジコン・ビジマッチのアフターフォローを行い、起業に積極的な地域づくりの機運醸成を図る。

2 事業内容

(1) ビジコン

① ビジネスプランの募集

② 1次審査、2次審査、計画のブラッシュアップ支援

③ 最終審査会（審査委員は金融機関、投資家、経営アドバイザー等）

【表彰】・ローカルベンチャー部門 最優秀賞 100万円×1名（1年以内に起業）
特別賞 10万円×4名

・学生アイデア部門 最優秀賞 6万円×1名

優秀賞 2万円×2名など

（中学・高校等の部、大学等の部それぞれに贈呈）

④ 起業まで融資等のアドバイスを実施

(2) ビジマッチ（最終審査会と同日開催）

[拡](3) ネットワーク形成イベントの開催

・ビジコン応募者（さようビジネスプランコンテスト(佐用町がR2,3,4年度に開催)応募者含む）が近況やアイデアについて自由に話ができる場の設定

・先輩起業家を招いたセミナーの開催（金融機関など創業支援機関にも参加を呼びかけ）など

※事業の実施に当たっては「地域しごとサポートセンター播磨」と連携する。

(4) スケジュール

・6～8月 ビジネスプラン公募

・9～11月 1次・2次審査、起業家等によるプランのブラッシュアップ

・12月 最終審査会（公開での決勝大会）、ビジネスマッチング

・1月～ 起業へ向けた助言・指導

※ネットワーク形成イベントは年に1回開催予定（時期は今後検討）

3 予算額

7,580千円

担当：県民躍動室地域振興課

班長（産業観光担当） 廣利 靖弘

(TEL.0791-58-2172)

西播磨フードセレクション episode.2

1 事業目的

西播磨産の農林水産物を使用した質の高い加工食品の発掘を行うコンテスト「西播磨フードセレクション」のこれまでの受賞食品のPR及び販路拡大支援を行う。

2 事業内容

事業主体：西播磨フードセレクション実行委員会

(構成員：県民局、市町、消費者団体、商工観光団体)

(1) コンテストによる食品発掘・PR

ア コンテストの概要

(令和7年度は、これまでの受賞食品の販路拡大支援を重点的に実施するためコンテストを休止。次回開催は令和8年度予定。)

- ・名称：西播磨フードセレクション（平成24年度から実施）
- ・応募対象：西播磨地域の農林水産物を使用して製造された加工食品
- ・これまでの受賞食品数：延べ73食品

イ 受賞食品のPR

公式ホームページや、チラシ、情報誌等による情報発信

(2) 受賞食品の販路拡大支援

ア 商談会の実施による販路拡大支援

イ 生産者と実需者をつなぐ交流イベント「西播磨 FOOD MEETING」実施によるPRと販路拡大支援

3 予算額 3,850千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第1課長 尾西 賢一

(TEL.0791-58-2193)

西播磨版スマート農業の推進

1 事業目的

土地利用型農業が中心の西播磨地域において、担い手農家の栽培面積拡大と生産性向上を図るため、スマート農業技術による省力化・効率化等の実証を実施するとともに、スマート農業技術の普及・習得を支援する。

2 事業内容

(1) スマート農業技術の実証

- ① 従来使用されているGPSと比較して位置情報の測位精度が高いRTK基地局を活用した自動操舵システムによるトラクター作業やドローンの自動航行の導入等、大規模土地利用型農業における農作業の高精度化による効率化、省力化を実証
- ② 土地利用型農業だけでなく、野菜・果樹・花き・畜産等西播磨管内各地域の特色ある農業に活用できるスマート農業技術を実証

(2) スマート農業技術の普及推進

安全かつ効率的にドローンを使用できるよう操縦者を複数確保するために必要な技能習得講習受講費用の一部を支援

(3) 「西播磨スマート農業推進協議会」の運営

- ① 地域課題把握、実証効果分析等の検討会の開催
- ② 研修会・実演会等の開催

3 予算額 3, 0 0 0 千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第2課長 釜井 善経

(TEL.0791-58-2195)

西播磨ブランドの育成・創造支援

1 事業目的

西播磨地域で生産される個性・特長ある農林水産物を「西播磨ブランド」として育成するために必要な生産量の拡大、新商品開発等の取組や、新たにブランド化を目指す作物の試作等の取組を支援する。

2 事業内容

(1) 産地ブランドの育成

生産組織等が行う産地ブランドの育成等に向けた取組を支援

- ① 小麦 : 安定生産技術の確立、実需者が求める小麦新品種の導入
 - ② 落花生 : 安定生産技術及び乾燥調整技術の確立等
 - ③ たつのネギ : 安定生産技術及び省力栽培体系の確立等
- (事業主体：生産者が組織する団体、農産加工グループ等)

(2) 西播磨ブランド化の創造支援

生産組織等が行うブランド化を目指す新規作物の導入や商品化に向けた販売・加工の取組を支援

(事業主体：集落営農組織、農業法人等)

3 予算額 3, 9 0 0 千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第2課長 釜井 善経

(TEL.0791-58-2195)

地域づくり活動応援事業の推進

1 事業目的

魅力あふれる西播磨づくりを推進するため、地域課題に主体的に取り組む地域づくり活動団体の取組に対して、活動経費の支援や活動成果発表の場を提供する。

2 事業内容

(1) 一般枠（200 千円以内／団体）

地域団体が地域社会の共同利益の実現を目的に取り組む新たな活動に対し、活動経費の一部を補助する。

(2) 特別枠（250 千円以内／団体）

ア 防災意識醸成事業 南海トラフ地震や台風等の災害に備えて、防災意識を醸成するイベントや取組等に対して補助する。

イ 芸術・文化・スポーツ振興事業 地域に根付く芸術文化の保存・継承活動、または地域住民が実施する健康増進を目的としたスポーツイベント等、地域の活性化に繋がる取組等に対して補助する。

ウ 万博を契機にした地域の魅力発信事業 大阪・関西万博開催を契機に、地域の魅力発信に繋がる取組やイベント等に対して補助する。

エ 移住・定住促進事業 都市住民等を受け入れる移住や交流人口の増加等につながる地域交流の推進により、地域を活性化することを目的として、地域団体等が実施する移住・定住・交流を推進する事業に対して補助する。

(3) 高校生枠（80 千円以内／校）

西播磨地域の高校等を対象に、ふるさとへの愛着を醸成する取組に対して補助する。

(4) チャレンジ事業枠（80 千円以内／校）

チャレンジ事業枠に取り組む学校については、通常の高中生枠に加えて、もう1件別事業の申請を可能とする。なお、チャレンジ事業枠については、一般・特別枠と同様に、審査会で補助額を決定するものとする。

※事業内容：防災意識醸成事業、芸術・文化・スポーツ振興事業、脱炭素社会推進事業、ふるさと意識醸成事業

3 予算額 9,927千円

担当：県民躍動室
室長補佐兼県民課長 森本 健
(Tel.0791-58-2341)

西播磨地域ビジョンの推進

1 事業目的

ビジョン推進チームや旧出る杭参加団体など、地元に関わった活動を行っている地域活動団体は、西播磨地域ビジョン 2050 の基本理念及び4つの将来像と 16 の取組目標実現に繋がる活動を行っている。これらの活動内容を発表し共有することで、基本理念「光と水と緑でつなぐ 元気西播磨」の実現を目指す。

2 事業内容

(1) 活動発表

ビジョン推進チーム等の活動発表の場を提供する。

(2) 西播磨地域ビジョン 2050 の周知

取り組み目標をイメージしたピクトグラムをモチーフにグッズを作成し、将来を担う高校生や小中学生を中心に配布し取組の周知を図る。

(参考)「西播磨地域ビジョン 2050」のめざす姿等

【基本理念】光と水と緑でつなぐ 元気西播磨

【将来像及び取組目標】

将来像	取組目標
1 つながる地域のきずな西播磨 ～地域でともに支え合う繋がりのあるまち～	1 地域みんなで子育てを応援しよう
	2 次代を担う人材を育てよう
	3 ほどよいおせっかいで縁を結ぼう
	4 あらゆる多様性を尊重しよう
2 元気な西播磨 ～地域の強みを活かした賑わいと活力のあるまち～	5 自慢したい地域の資源を守り活かそう
	6 戻りたい・住み続けたい地域にしよう
	7 自分らしく活躍できる地域をめざそう
	8 地域とともに成長する産業を育てよう
3 自立の西播磨 ～地域で循環するまち～	9 自然と共生しよう
	10 地産地消を進めよう
	11 遊休資源を知恵と工夫で活かそう
	12 より輝く播磨科学公園都市をつくろう
4 安全安心の西播磨 ～誰もが安心していきいきと暮らせるまち～	13 いきいきと暮らせる地域をつくろう
	14 移動に困らない地域をめざそう
	15 健康・福祉が充実した地域をめざそう
	16 防災力を高めよう

3 予算額 500千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当） 石川 景子

(TEL.0791-58-2128)

ふるさと意識醸成プロジェクト

1 事業目的

地域への愛着と誇り（ふるさと意識）の醸成を図るため、西播磨地域の生活創造活動及び芸術文化活動の拠点である西播磨文化会館において、文化団体、高齢者大学生、生活創造活動グループ、高校生、ボランティア、NPO等と協働で、西播磨地域の特色ある芸術文化活動の発信と交流を推進する。

2 事業内容

西播磨文化会館において、文化団体等と協働して、伝統文化等に関する学びや活動発表の機会を提供、文化会館を核としたネットワークづくりを進める。

(事業例)

(1) 西播磨ふるさと文化祭

子どもから高齢者まで参加できるように、生活創造活動グループ、高齢者大学生、地元高校生などによる発表等を行うとともに、体験学習（伝承文化体験、芸術表現体験等）ができる地域イベントを開催する。

(2) 西播磨文化会館と県立高等学校との連携による人材育成（補助事業）

西播磨文化会館と多様な専門学科を有する龍野北高等学校の双方が持つ資源の有効活用、及び高校生と高齢者の異世代交流を通じて、地域への愛着や誇りを持つとする「ふるさと意識」の醸成を図るとともに、地域社会で貢献できる人材育成を促進する。

3 予算額 800千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当） 石川 景子

(TEL.0791-58-2128)

“結婚っていいな！”西播磨縁結び推進事業

1 事業目的

独身者が結婚に前向きになるよう、地域ぐるみで結婚を進める機運を醸成するため、「結婚っていいな！」西播磨縁結び推進事業」を推進する。

2 事業内容

(1) 西播磨結婚応援企業の登録

独身社員への結婚の働きかけや交流の機会づくり、結婚に関する情報の周知など、社員の結婚を応援する企業を登録。

- ① 対象企業 西播磨地域内に所在する企業（企業内の部署、支店、工場等での登録も可。）
- ② 県支援内容
 - ア 出会いイベント等の結婚支援情報の提供
 - イ 結婚に向けた活動の応援（企業が企画する縁結びイベント等をHPで周知等）
 - ウ 取引先、顧客等への出会いを支援する情報の提供
- ③ その他 登録企業には、登録証を交付するとともに、県民局のホームページで西播磨結婚応援企業としてPR。

(2) 西播磨縁結び推進員の委嘱

結婚に関する相談や独身者の引き合わせなどの活動を行う個人を委嘱し、研修会を実施する。

- ① 委嘱対象者 西播磨地域内に在住または在勤・在学で、未婚者支援に誠実に取り組める者。
- ② 活動内容 下記のうち任意の活動を、年間を通して実施。
 - ア 独身者への結婚の働きかけ
 - イ 独身者やその親族等からの結婚相談対応
 - ウ 結婚を希望する独身者の引き合わせ

(3) 高校生育児体験プログラム

高校生を対象に赤ちゃんに触れ合う育児体験の場を提供し、命の大切さを実感し親になる準備や結婚・出産を視野に入れたキャリア形成の意識を醸成する。

3 予算額 700千円

担当：県民躍動室

多自然地域づくり専門官 蒲原 恵美子

(TEL.0791-58-2133)

西播磨フロンティア祭の開催

1 事業目的

Spring-8など最先端科学が集積する播磨科学公園都市で、次世代科学技術の展示・体験、地域団体の活動発表などを通して、西播磨の賑わい創出、地域の連携・交流を促進する。

R7年度は、阪神・淡路大震災から30年の節目に「創造的復興理念」の共有・継承に取り組むとともに、新たに次世代を担う青少年・児童等に向けて、ダンス、スケートボード、クライミング、音楽などの新たな体験に触れる場を提供することで、ライフスタイルを拓げるきっかけを作る。

2 事業内容

(1) 時期：令和7年10月下旬

(2) 場所：播磨科学公園都市 芝生広場

(3) 内容（予定）：

①次世代に向けた新たな体験の提供

ダンスコンテスト、ダンス体験、スケボー体験、クライミング体験、
楽器演奏体験

②「創造的復興理念」の共有・継承

震災・水害の記録、復興の歩みの展示、災害時ドローン活用の展示
地震体験車による体験、自衛隊・消防・県警等車両見学 ほか

③次世代技術の展示・体験

ドローン、水素関係、「SPRING 8」・「SACLA」見学会、科学教室、
天体関係の展示・体験、ロボット関係の展示・体験等

④地域の情報発信・交流促進

各市町・観光協会、エコフェス、地域づくり活動、立地企業PR、
西播磨特産品市、キッチンカー、飲食店ブース等

3 予算額 10,350 千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当）石川 景子

(TEL.0791-58-2128)

環境学習の推進

1 事業目的

西播磨地域の環境学習施設や豊かな自然を活用したエコツアーの実施や小学生等を対象とした水生生物調査による実体験事業の実施により効果的な環境学習の推進を図る。

2 事業内容

(1) エコツアー事業

ひょうご環境体験館やリサイクル施設などの見学と自然観察体験を組み合わせ、広く県民を対象としたエコツアーを年4回程度（参加者各回50～100名程度）実施する。

（例：昆虫採集、植物観察、マイクロプラスチック調査、海辺観察、バードウォッチング等）

(2) 水生生物調査

小学生が実際に身近な河川に入り、採取した水生生物の種類により河川の水質について判定を行う水辺の環境学習会（水生生物調査）を4回程度実施する。

(3) エコツアーを企画・実施する「県政推進員」を設置する。

3 予算額 4, 7 6 3 千円

担当：県民躍動室

環境課長 松林 雅之

(Tel.0791-58-2137)

西播磨エコフェス事業

1 事業目的

個人が実践している脱炭素行動の共有や、資源循環に関する普及啓発により、脱炭素や資源循環に関する県民の理解と促進を図る。

2 事業内容

令和7年秋頃に開催予定の西播磨フロンティア祭において、エコをテーマに「西播磨エコフェス」を実施する。

(1) エコパフォーマンスショー

環境問題と科学実験、パフォーマンスを融合させた知的体験型のパフォーマンスショーを実施する。

(2) 脱炭素行動人気投票

家庭等で実践可能な脱炭素行動への投票結果をもとに、暮らしにおけるメリット等をPRし、楽しみながら学べる参加型のエコクイズを実施する。

(3) 脱炭素や資源循環に関する企画展示

ひょうご環境創造協会及びひょうご環境体験館、民間企業等と連携し、脱炭素や資源循環に関する企画展示や出前環境学習を実施する。

(4) フードドライブ運動

フードバンク団体と連携し、家庭で余った食品や日用品を回収し、福祉施設等に配布するフードドライブ運動を実施する。

3 予算額 900千円

担当：県民躍動室

環境課長 松林 雅之

(Tel.0791-58-2137)

恵み豊かな清流千種川復活大作戦

1 事業目的

千種川では、緊急河道対策事業等の大規模河川改修事業により河川環境が大きく変化したことにより、内水面漁業等への影響など自然環境にかかる様々な課題が顕在化している。

そこで、河川管理者である県土木事務所が関係者と連携し、小さな自然再生の手法を駆使し、鮎やモクズガニなどがたくさん捕れたかつての恵み豊かな清流千種川の復活に向け、計画的かつ継続的に多様な生物が生息する河川空間の創出に取り組む。

2 事業内容

光都土木事務所による計画的かつ継続的な河川環境創出に向けた様々な取組と併せ、各関係者（土地改良センター、農林振興事務所、千種川圏域清流づくり委員会、千種川漁協等）と情報共有を行い、連携して実施する。



滯筋の形成・維持



落差工の段差解消

3 予算額 150千円

担当：光都土木事務所

所長補佐(企画調整担当) 大久保 豪

(TEL.0791-58-2229)

河川砂防第1課長 青田 泰樹

(TEL.0791-58-2243)

環境対策の推進

1 事業目的

管内の環境保全に関する専門的知見の集積に向けた専門家への意見聴取を通じ、環境対策を推進する。

2 事業内容

管内に設置計画のある事業場等の生活環境保全上の措置について専門家への意見聴取を行う。

3 予算額 313千円

担当：県民躍動室
環境課長 松林 雅之
(TEL.0791-58-2137)

㊦ 防災対策にかかる県民意識向上の推進

1 事業目的

地震や台風など自然災害による被害を軽減するため、県民の自助・共助意識の更なる向上に取り組む。特に、人口減少・少子高齢化が進む西播磨地域において、次世代を担う高校生への防災教育を実施する。

また、地域防災力を維持しつつ、さらに向上させるため、災害発生時の被災状況の確認・救援物資搬送等でのドローン活用に向けた態勢整備を行う。

2 事業内容

(1) 高校生等防災教育出前講座※の実施

①対象：管内の県立高校等の生徒、教員

②内容：専門家による実践的なワークショップ・講義

③講師：有識者(大学教員等)、自衛隊員、消防隊員、管内の防災士等
〔新〕新たに市町の防災部局と連携を図る等、取り組みの地域展開に繋げる。

※実績：H29（事業開始）以降、延べ 89 校、18,000 人以上が受講



太子高校

(2) 高校生防災サミットの開催（隔年開催）

管内の高校生が一堂に会し、「自分たちが地域防災活動に果たす役割」等をテーマに、取り組みの事例発表、意見交換等を行うことにより、防災に対する考え方の共有と防災意識の向上を図る。



前回(R5 年度)の様子

(3) ドローン活用に向けた態勢整備

西播磨地域での災害発生対応等の協力者（以下、ドローン防災協力員）として登録することを条件にドローン操縦にかかる国家資格取得費用を一部支援すること等により、災害時のドローン活用に向けた態勢整備を推進する。

(4) 「ひょうご安全の日」西播磨地域のつどいの開催

将来の災害への備えの充実を図るため、西播磨地域のつどいを開催する。

①対象：一般県民、防災士、ドローン防災協力員、市町防災担当者等

②時期：令和 8 年 1 月（予定）

3 予算額 （5, 8 5 7 千円）＋本庁予算

担当：総務企画室総務防災課

班長（企画防災担当）松谷 寛幸

(Tel. 0791-58-2168)

引原ダム再生事業の推進

1 事業目的

引原ダムにおいて、さらなる治水安全度を向上させ、揖保川流域の浸水被害の軽減を図るため、堤体の嵩上げや放流設備を新設するダム再生事業により、現在のダムの洪水調節機能を大幅に強化する。

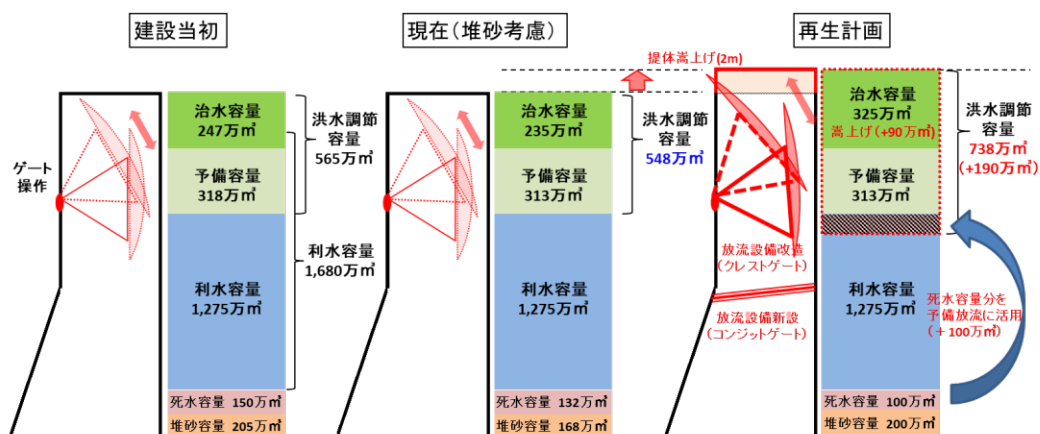
2 事業内容

[令和7年度の事業内容]

工事用道路工事、用地補償、本体工事着手

[全体事業内容]

- ・堤体嵩上げ
(ダム高+2m、貯水容量+90万 m^3)、
- ・放流設備の新設
(コンジットゲート ϕ 3m)
- ・放流設備の改造(既設クレストゲート)
- ・ダム周辺道路の付替(国道29号、管理用道路)



3 予算額 公共予算

担当：光都土木事務所

ダム管理課長 三好 達士

(TEL.0791-58-2247)

総合治水の推進

1 事業目的

気候変動に伴う降雨量の増大により、近年ますます激甚化、頻発化が予想される水災害リスクの増大に備えるため、河川や下水道を整備する「ながす」対策に加え、校庭やため池などを活用して一時的に貯留・浸透させて流出量を抑える「ためる」対策、浸水した場合でも被害を小さくする「そなえる」対策を組み合わせた『総合治水』に流域全体で取り組む。

2 事業内容

項 目	西播磨西部(千種川流域圏)	西播磨東部(揖保川流域圏)
河川下水道対策 (ながす)	・河川改修の推進（千種川、加里屋川等） ・水門や排水機場の維持管理	・河川改修の推進（揖保川等） ・既存ダムの有効活用（引原ダム再生等）
流域対策 (ためる)	・田んぼダムの取組拡大、ため池の治水活用の推進(西播磨全域) ・既存ダムにおける事前放流（引原ダム等） ・各戸貯留の助成事業を促進	
減災対策 (そなえる)	・C Gハザードマップ、河川情報システムの利用拡大に向けた広報活動 ・各種イベントにおける総合治水の取組広報 ・市町によるハザードマップ、地域による防災マップの作成支援 ・フェニックス共済の加入促進	

3 予算額 公共・県単予算

担当：光都土木事務所
 所長補佐(企画調整担当) 大久保 豪
 (TEL.0791-58-2229)

西播磨「田んぼの力」プロジェクト

1 事業目的

田んぼの多面的機能の一つである「雨水の一時貯留機能（洪水調整機能）」をより高め、洪水被害の防止・軽減を図るため、田んぼダムを取組を拡大する。

また、地域住民が疏水※に親しみ、理解を深めていただくための住民参加型の保全活動を支援する。 ※ 河川等から取り入れた農業用水が流れる水路とそれに附属する施設全般

2 事業内容

(1) 田んぼダムせき板の配布

実施を希望する農家を対象に、田んぼダムの効果や実施方法について、多面的機能支払交付金制度実施地区等を対象に説明会を開催する。また、「田んぼダムせき板」の無料配布を行う。

・取組実績（H25～R6）2,169ha → R16目標：3,060ha

(2) 住民参加型「田んぼ・疏水・ため池」等保全活動の支援

土地改良区等地元が主体となって実施する生き物教室や疏水学習会など、地域住民が疏水に親しみ、知ってもらうための保全活動を支援する。

- ・地域用水ウォーキングの開催及び「疏水・ため池」等まつりの開催
- ・疏水生き物教室や歴史教室の開催
- ・看板の設置及びワークショップの実施（保全活動計画づくり等） 等

[実施主体] 土地改良区、地域づくり団体等

[補助率] 定額、上限100千円/件

3 予算額 1,200千円

(1) 田んぼダムせき板の配布	500千円
(2) 住民参加型「田んぼ・疏水・ため池」等保全活動の支援	700千円
計	1,200千円

担当：光都農林振興事務所

光都土地改良センター

農村計画課長 合田 弘

(TEL.0791-58-2215)

農政専門員 横田 欣仁

(TEL.0791-58-2225)

㊦西播磨地域 障がい者社会参加プロジェクト

1 事業目的

西播磨地域で暮らす障害者の社会参加を促進するため、福祉事業所を中心に農業者や学生、専門家など多職種連携により地域の特産品開発を行っているネットワークを活用して「西播磨障害者社会参加促進協議会（以下、「協議会」という）」を設置するとともに、協議会を主体的かつ持続的に運営できるよう支援する。

2 事業内容

(1) 協議会で取り組む西播磨地域の魅力ある商品開発等の活動を支援

- ① 福祉事業所や農業者、大学、デザイナー、JA 等が連携して取り組む商品開発を支援する。
- ② 福祉事業所が独自に開発した既存商品の改良を支援する。

開催回数：年 5 回

(2) 障害者の自立・社会参加の促進に向けた研修会の開催

- ① 地域住民が障害者特性の理解を深めるための研修会を開催する。
- ② 管内障害福祉事業所を対象とした商品の高品質化や販売促進に向けた研修会を開催する。

開催回数：各 1 回

3 予算額 300 千円

担当：龍野健康福祉事務所

生活福祉課長 塚本 ゆきみ

(TEL.0791-63-5137)

地域で生活する医療的ケア児の支援体制整備

1 事業目的

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引等その他の医療行為）を受けることが不可欠である医療的ケア児は、医療技術の進歩に伴い増加している。また、実態の多様化を踏まえ、児の心身の状況に応じた適切な支援を受けられることをめざし、R3年に「医療的ケア児支援法」が施行され、「兵庫県医療的ケア児支援センター」の設置やコーディネーターの配置等、地域での支援体制の整備が進んでいる。

医療的ケア児とその家族がニーズに応じたサービスを早期から活用し、住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう、地域での支援者の対応力の向上及びネットワークの構築が必要である。

西播磨圏域においては、R6年3月に全ての市町に医ケア児等コーディネーターが配置された。しかし、各市町の医ケア児への取組状況を調査した結果、取組状況も市町によって様々であり、コーディネーターの役割も明確ではない。そのため、R6年度は、各市町のコーディネーターを参集し連絡会を開催。各市町の現状を把握し課題について検討した。また医ケア児の理解を深めるため、支援する多職種を対象に研修会を開催し医療・保健・福祉・教育等関係者 106 名が参加した。

R7年度は、各市町のコーディネーターの役割理解の促進や、姫路赤十字病院等医療機関との連携体制を構築し、各市町においてコーディネーターが中心となり医ケア児支援体制を整備していけるよう、各市町の医ケア児等コーディネーターを支援する。

2 事業内容

- (1) 医療的ケア児等コーディネーター連絡会の開催
- (2) 医療的ケア児等コーディネーターの役割及び多職種連携の必要性について理解を深めるため、好事例報告を含めた研修会開催

3 予算額 150千円

担当：龍野健康福祉事務所

所長補佐兼地域保健課長 伊藤 政恵

(TEL.0791-63-5141)

㊦ 姫新線利用促進・活性化対策の推進

1 事業目的

J R 姫新線沿線の地域資源を活用した利用促進イベント等を実施することにより、年間乗車人員の目標 300 万人の維持・向上（令和 5 年度に再達成）と沿線地域の賑わいづくりを推進する。

また、県内の JR ローカル線の維持・活性化に向けて設置された「JR ローカル線維持・利用促進協議会」及び「JR 姫新線維持・利用促進ワーキングチーム」で検討された利用促進策を実施する。

2 事業内容

(1) 姫新線沿線での利用促進イベント等の実施

①「ドローンレース大会」の開催

②姫新線と沿線の地域資源を結ぶ「フィールドパビリオン体験ツアー」等を実施

[新] ③沿線学生による「マイレール週間」の取り組み

将来を担う沿線学生が関わる以下の取り組みを、1 週間集中的に実施する。

- ・「ふるさとの風景絵画コンクール」※で受賞した姫新線関係のポスター等を車内の中吊り広告として活用
- ・沿線の中学生等によるオリジナルの観光情報を車内で録音放送

④同じく姫新線の利用促進に取り組む岡山県との連携事業

※P15「西播磨ふるさとの風景づくり」のなかで実施

(2) 「姫新線利用促進・活性化同盟会」での利用促進活動の展開

沿線市町等と構成する「姫新線利用促進・活性化同盟会」に参画し、沿線でのハイキング等のイベント開催や P R 活動等、沿線が一体となった利用促進活動を展開する。

3 予算額 6, 9 4 2 千円

担当：総務企画室総務防災課

班長（企画防災担当）松谷 寛幸

(TEL. 0791-58-2168)

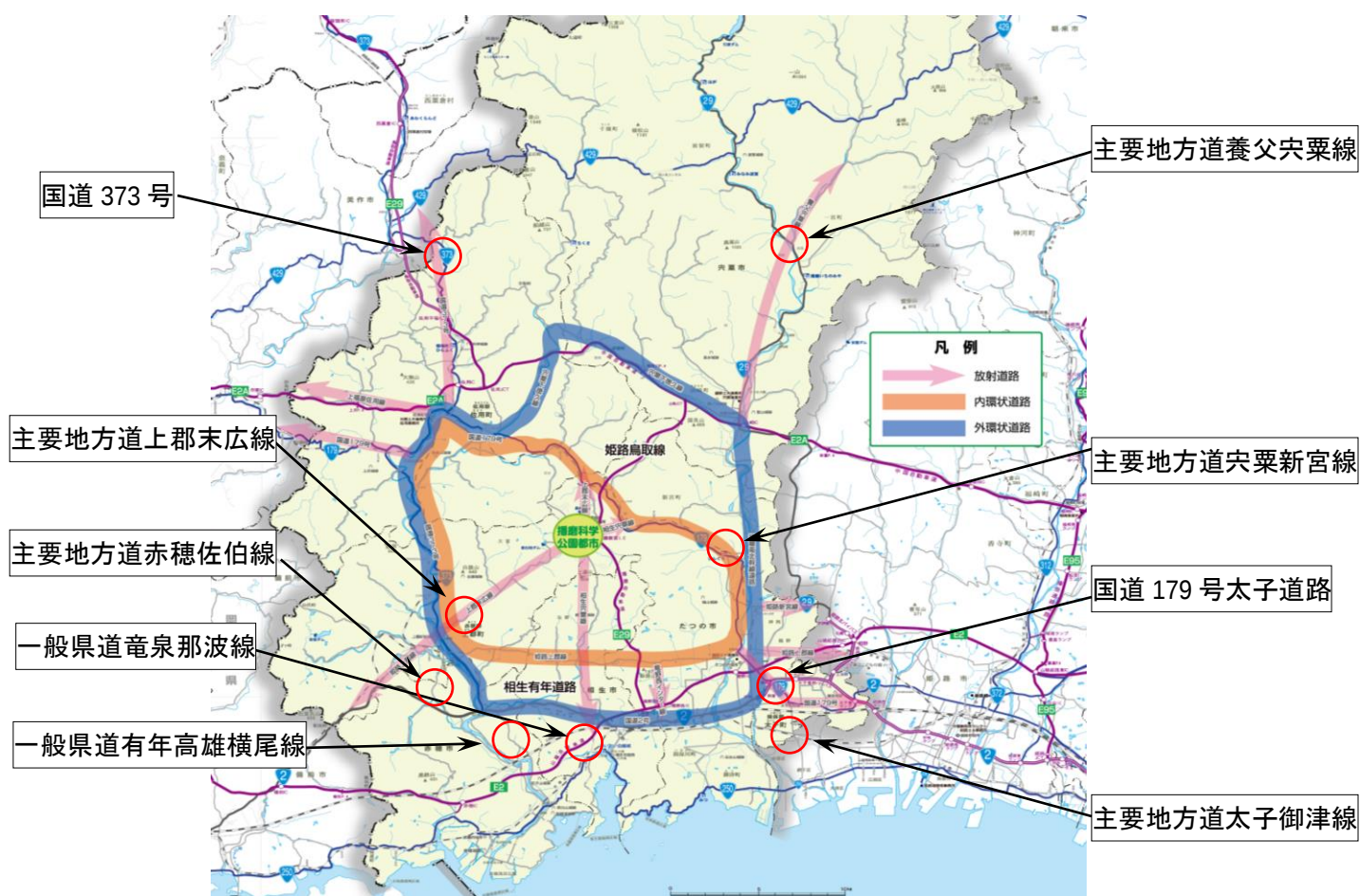
播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり

1 事業目的

播磨科学公園都市を核とする放射道路と環状道路による道路ネットワークの構築により、地域の連携強化と災害時における円滑な輸送路の確保をめざす。

2 事業内容

○主な事業箇所



3 予算額

公共・県単予算

担当：光都土木事務所
所長補佐(企画調整担当) 大久保 豪
(TEL.0791-58-2229)